

広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙

議員名 松 用 健 司

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

・釣り文化振興モデル港・指定に対する国からの助成の状況、

・広尾町に導入するには、どのような体制作りが必要か、

・道内一の面積とウオーテーを誇るキャンプ場を視察して、

広尾町のキャンプ場を二山からどのようになっていくか、運用面

日含めの参考にすること。

2. 実際に視察してみての感想は。

・釣り文化振興モデル港に指定され、国からの金銭的存

助成は無事がやがて、振興団体との連携などに

取り組み、関連団体との協議を進めて、実現の可能性、

ほか、実現でなければ、町の観光資源のボトムアップ(なが)

交流人口の拡大や、経済的波及効果は大きいと感じます。

キャンプ場の根幹は、近年のアゲト人口の動向や、傾向を

知る事が大事、又、キャンプ場を長く維持管理するための、

今後も知る事が大事。

※裏面に続く - 4.11.-9

広尾町議会



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

まずは、議員間での、ディスカッションを行ひ、

役場内の関連部署との情報共有、可能な限り行ひたい、

その上で、実現性、模索は計りながら、町民の幸せに
つながる様な活動を行ひたい、

時にキャラクター端の問題は、町民の街並も関心の高い事柄
なので、積極的に尚且つ、慎重に、取り組んで行ひたい。

4. その他(自由記載)

・ 鈎り振興モデル港、→キャラクター→町内企業→サニテクト、
連携して観光モデルを提案、通過型の観光から、滞在型の
観光へと、乗りきることに手て、交流人口の拡大、経済への波及、
外貨の獲得へ、次に、小供や子育て世代への投資に
つなげ、30年後にも元気町が存続される、スキームの構築。

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民に
お知らせすることとしていますので、ご了承ください。

提出締切:11月21日(月)**広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙**議員名 川口勝年

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

国土交通省 港湾局が 北海道初となる

モデル釣り場として開放する

苫小牧東港区内防波堤を釣り文化振興

モデルミニ港湾を釣り場に開放

2. 実際に視察してみての感想は。

十勝港での取組みは ますかしい

地震や津波など発生した場合 釣人への

危険回避又は 漁業者 港湾事業者など

利害がえらかなと見う

※ 裏面に続く

広尾町議会



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

広尾町で取組ことは まことに
地震や津波など災生した場合 行政と検討
しながら 議員が進めるしかない
時間はかかると思う

4. その他(自由記載)

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民に
お知らせすることとしていますので、ご了承ください。

広尾町議会

広尾町議会 総務常任委員会行政視察レポート用紙

令和4年10月31日 苫小牧市 議員名 志村國昭

1. 今回の視察調査での重要項目は何でしたか。またその理由は。

「釣り文化振興モデル港の運営状況」

十勝港には、海釣りを楽しむ人が多く訪れるが、「場所取り」「ゴミ放置」

「勝手な駐車」「排泄物」などのマナー違反が多く、海運業者や漁業者とのトラブルが多く発生している。

多くの港で同様の事案に悩んでいるが、この中で苫小牧港が国土交通省の「釣り文化振興モデル港」に指定され、有料の海釣り施設として開放された。十勝港において、同様の施設開放の可能性を探るべく視察を行った。

2. 実際に視察してみての感想は。

全国で3港が指定されたが、苫小牧港を視察して、十勝港のどの施設（防波堤、岸壁）を開放できるのかが、大きな課題となりそうだ。

また、有料開放するための管理方法や主体となる管理団体の設置など、検討事項は多くあり、調査、研究に相当の時間を要すると感じた。

国交省は、事業実施に向けたアドバイスはするが、補助金などの措置はない。現在、指摘されている十勝港での釣り人のマナー改善は喫緊の課題で、このまま解放を容認するにしても、管理者として何らかの手立ては必要となる。禁止区域や釣り場設定の有無も含め、早々に取り組む課題と感じた。

1. 今回の視察調査での重要項目は何でしたか。またその理由は。

「オートキャンプ場の施設及び運営状況について」

視察先：オートリゾート苫小牧アルテン

近年、アウトドア嗜好が高まる中、閉鎖したシーサイドキャンプ場の再開等

広尾町議会 ※裏面へ



を模索する上での、参考に資すること。

2、実際に視察してみての感想

規模や運営方法については、近隣に大都市札幌圏をかかえる地理的な条件を勘案すると広尾町との比較は難しいと感じた。

広大な土地でバンガローやテント・オートキャンプサイトは全道一の規模である。また送電線が地下ケーブルで風倒木などの被害も受けにくいのが特徴。管理体制、関連施設も充実し、季節柄キャンプ場は閑散としていたが、温泉、レストランの利用（地元客か？）が多く見られた。

シーサイドパークキャンプ場を再開しようとするならば、海・川遊びができる立地の得意性を生かしていくべきで、附帯施設（浴場・食堂・売店）の併設は欠かせない要素。

遊園地の跡地をオートキャンプサイトとしての改裝なども視野に入れれば、それなりの規模拡大が見込まれるのではないか。

財政ひっ迫の閉塞感から脱するためのカンフル剤として、町外からの交流人口誘致は、大きな治癒効果をもたらすと思う。

専門のノウハウを有する企業のプレゼンテーションを得るなど、サンタの山展望台との相乗効果を狙った計画樹立に早期に取り組むべきと感じた。

広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙

議員名 小田 雅二

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

・釣り文化振興モデル港の運営状況について

この件は広尾町としても大変参考になる事象で

そのまま町にあてはめる事が出来ると思っていました。

・オートキャンプ場については、広尾町もキャンプ場を

開く予定でワークショップを行なう等、再検討の方向に

あるのでこれも参考になりますと考えていました。

2. 実際に視察してみての感想は。

・釣り文化振興モデル港への参加を、広尾町も
真剣に検討すべきと思う。

・オートキャンプ場はアルテンと比べ底土も立地性も良くなかかる
サンタラードという独自性を持ちえるキャンプ場は
可能だと思う。

※裏面に続く - 4.12.-2

広尾町議会



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

標記の2件とも、広尾町がやる気になれば
やれるものなので、より実現に近づけるよう
活動していかなければと思う。

4. その他(自由記載)

現地に行く途中で、海の駅プラットホームなど市場
に昼食の鳥立寄った。どの食堂も混み合っ
ていて、コロナ過なんかのという感じ。更に
人気店については、10~20人の行列ができた
いた。お客を引き付けるパワーの源泉は
何か?と考えさせられた。

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民に
お知らせすることとしていますので、ご了承ください。

広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙

議員名 旗手恵子

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

(1)釣り文化振興モデル港の運営状況（苫小牧市）

苫小牧港湾管理組合（市舎）で説明を受け現地視察。

苫小牧港は全国18の国際拠点港湾のひとつで、北海道最大の海上物流拠点。国内物流中心の西港区と、コニテナ貨物中心に輸出入の拠点となる東港区からなり、海岸線は約24km。沿岸区域は約14,340ha。港湾施設を、観光資源として利活用しようと国土交通省は平成31年に、釣り文化振興のモデル港を全国で募集。これまで16港が指定され、苫小牧

2. 実際に視察してみての感想は。港は令和2年度に北海道で初めて選ばれましたとの事でした。

(2)オートキャンプ場の施設及び運営状況

オーナーが運営する通年営業のキャンプ場オトリソート苫小牧アルテニを視察。2020年度の宿泊客は、前年度比、15.4%増の49,455人。1992年度開業以来最高を更新。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「密」をさけられる娯楽としてもキャンプ場の关心が高まった事が追い風となつた。樽前山のふもとに位置するアルテニは、充実した設備のログハウスや、利便性が良くて快適なバーガローなど

目的に合わせて選べます。（キャンプサイト209区画）※裏面に続く

広尾町議会



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

(1) 十勝港で安全に釣りが出来る環境をつくる事が可能なのか。

(2) オートキャンプ場は、「自然のリラクゼーションステーション」検討する必要あると思う。

4. その他(自由記載)

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民にお知らせすることとしていますので、ご了承ください。